

「第2回マンガ郷いわて特別賞」の表彰について

県では、マンガ制作等の活動を通じて、本県の魅力発信等に貢献した個人等を表彰する「マンガ郷いわて特別賞」の第2回受賞者として漫画家 さいとう・たかを氏を表彰することに決定しましたのでお知らせします。

なお、表彰式は、11月25日（土）14時30分から「第7回いわてマンガ大賞」コンテスト表彰式に引き続き盛岡駅ビルフェザンで開催します。

1 「マンガ郷いわて特別賞」について

(1) 設置目的

マンガ制作等の活動を通じて、本県の魅力発信等に貢献した個人等を表彰し、その事績を広く紹介することにより、「いわてマンガプロジェクト」の推進を図るとともに、マンガに携わる者が本県の豊かな地域資源や人材などを生かし活躍できる「マンガ郷いわて」の実現を図ること。

(2) 表彰対象

マンガやイラスト等の企画、制作、広報等の活動を通じて、次のいずれかに貢献し、表彰することが適当と認められる個人、団体、作品等。

- ア 本県の魅力発信に関する事
- イ 本県の文化芸術振興に関する事
- ウ 本県の東日本大震災津波からの復興に関する事
- エ その他マンガ郷いわての実現に関する事

2 第2回受賞者について

さいとう・たかを（81歳、漫画家）

(1) 表彰理由

ア 東京都新宿区に在住であるが、御夫人の出身である岩手県花巻市にも居を構え二地域居住されているほか、自身の代表作『ゴルゴ13』で岩手県出身の商社マンをたびたび登場させるなど、岩手県への思いを強く持たれていること。

イ 平成11年度に「宮古港幕末・維新秘話」という史実に基づいたビデオ劇画の制作を行っていただいております。幕末における宮古港海戦の重要性の周知に御尽力いただいたほか、平成24年3月発行のコミックいわて2に「雪やこんこ……」を御執筆いただいております。岩手県の魅力発信に貢献したこと。

（次頁に続く）

ウ 平成25年9月に日本橋高島屋で開催された「第3回東日本大震災復興支援チャリティ・アートカバンオークション」にクリエイターとして参加され、被災地の東日本大震災からの復興に貢献したこと。

(2) 略 歴

- ・ 昭和11年（1936年）11月3日、和歌山県生まれ（現在81歳）。東京都新宿区及び岩手県花巻市在住。本名、齊藤 隆夫（さいとう たかお）。
- ・ 中学校卒業後、家業の理髪店を姉と継ぎ、仕事の合間に2年近くかけて描いたストーリー漫画を大阪の貸本出版社に持ち込み、貸本漫画家としてデビュー。
- ・ 昭和33年に上京し、翌34年に劇画制作集団「劇画工房」を結成。多数の貸本劇画短編集を出版するも、昭和35年春に短期間で分裂。同年、東京都国分寺市に自らの漫画制作会社「さいとう・プロダクション」を設立。
- ・ 貸本業界の崩壊後は、一般漫画誌に進出。主に少年誌などに冒険・アクション漫画やミステリー・怪奇漫画を掲載。その後、青年誌にも進出、イアン・フレミング原作で話題となっていたアクション映画『007シリーズ』に注目し劇画化、その作品は『ボーイズライフ』に連載され大好評を得る。
- ・ 『ビッグコミック』にてアクション漫画を連載し、その中でも昭和43年10月より連載開始の『ゴルゴ13』は、一度も休載することなく現在も連載中、来年連載50周年を迎える長寿漫画で、日本の「劇画」の代名詞となっている。この『ゴルゴ13』は高い評価を受け、昭和51年1月には1975年度小学館漫画賞の青年一般部門を、平成17年1月には2004年度小学館漫画賞の審査委員特別賞を受賞した。
- ・ また、平成15年11月に紫綬褒章を、平成22年4月には旭日小綬章を受章した。

<受賞歴>

昭和51年（1976年） 1月 - 第21回小学館漫画賞青年一般部門（『ゴルゴ13』）

平成15年（2003年）11月 - 紫綬褒章

平成17年（2005年） 1月 - 第50回小学館漫画賞審査委員特別賞（『ゴルゴ13』）

平成22年（2010年） 4月 - 旭日小綬章

(3) 選考方法

マンガを始めとする文化芸術についての知見を有する専門家及び学識経験者で構成する「マンガ郷いわて特別賞表彰選考委員会」（委員長：菅野 洋樹 公益財団法人岩手県文化振興事業団理事長、委員数：5名）での審議を経て決定。

（次頁に続く）

3 表彰式について

(1) 日 時

平成29年11月25日（土） 14時30分から

(2) 場 所

盛岡駅ビルフェザン 1階 パティオ（旧 出逢いの広場）

(3) その他

当日、同会場で行われる「第7回いわてマンガ大賞コンテスト表彰式」（14時00分～14時30分）に引き続き開催します。

なお、表彰式に続いて、知事とさいとう氏による記念トークも開催予定です。